

令和4年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

玉川大学

令和5年5月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 ☐ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 玉川大学動物実験に関する規程ならびに玉川大学動物実験に関する指針（平成13年10月1日制定） ・ 玉川大学動物実験運用要領（平成13年10月1日制定） ・ 玉川大学遺伝子組換え実験安全管理規程（平成15年10月1日制定） ・ 玉川大学遺伝子組換え実験安全管理運用要領（平成17年4月1日制定） ・ 玉川大学脳科学研究所動物実験管理マニュアル（げっ歯類用）（平成28年4月1日制定） ・ 玉川大学脳科学研究所動物実験管理マニュアル（霊長類用）（平成28年4月1日制定） ・ 玉川大学動物実験管理マニュアル(齧歯類)大学6号館, Consilience Hall 2020(令和元年9月10日制定) ・ 玉川大学工学部動物実験管理マニュアル（げっ歯類用）（令和元年9月10日制定）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・ 文部科学省の指針に沿って、機関内規程が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 玉川大学動物実験に関する規程ならびに玉川大学動物実験に関する指針（平成13年10月1日制定） ・ 玉川大学動物実験運用要領（平成13年10月1日制定） ・ 令和4度玉川大学動物実験委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・ 玉川大学動物実験に関する規程に基づく「玉川大学動物実験委員会」として設置され、適正に運営されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 玉川大学動物実験に関する規程ならびに玉川大学動物実験に関する指針（平成13年10月1日制定） ・ 玉川大学動物実験運用要領（平成13年10月1日制定） ・ 動物実験計画書 ・ 動物実験計画変更届 ・ 動物実験結果報告書 ・ 動物実験終了・中止報告書 ・ 動物実験施設設置承認申請書 ・ 動物実験施設改造承認申請書 ・ 動物実験施設等廃止届
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・ 動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 ☐ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 玉川大学動物実験に関する規程ならびに玉川大学動物実験に関する指針（平成13年10月1日制定） ・ 玉川大学動物実験運用要領（平成13年10月1日制定） ・ 玉川大学遺伝子組換え実験安全管理規程（平成15年10月1日制定） ・ 玉川大学遺伝子組換え実験安全管理運用要領（平成17年4月1日制定） ・ 玉川大学脳科学研究所動物実験管理マニュアル（げっ歯類用）（平成28年4月1日制定） ・ 玉川大学脳科学研究所動物実験管理マニュアル（霊長類用）（平成28年4月1日制定） ・ 玉川大学動物実験管理マニュアル(齧歯類)大学6号館, Consilience Hall 2020(令和元年9月10日制定)

・玉川大学工学部動物実験管理マニュアル（げっ歯類用）（令和元年9月10日制定）
3）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
・玉川大学動物実験に関する規程、運用要領ならびにマニュアルにより、適正に定められている。
4）改善の方針、達成予定時期
特になし

5. 実験動物の飼養保管の体制

1）評価結果
☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2）自己点検の対象とした資料
・玉川大学動物実験に関する規程ならびに玉川大学動物実験に関する指針（平成13年10月1日制定） ・玉川大学動物実験運用要領（平成13年10月1日制定） ・玉川大学脳科学研究所動物実験管理マニュアル（げっ歯類用）（平成28年4月1日制定） ・玉川大学脳科学研究所動物実験管理マニュアル（霊長類用）（平成28年4月1日制定） ・玉川大学動物実験管理マニュアル(齧歯類)大学6号館, Consilience Hall 2020(令和元年9月10日制定) ・玉川大学工学部動物実験管理マニュアル（げっ歯類用）（令和元年9月10日制定） ・動物実験施設設置承認申請書 ・動物実験施設改造承認申請書 ・動物実験施設等廃止届 ・実験動物飼養保管施設リスト ・実験動物施設設置承認記録
3）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
・規程に基づき、飼養保管施設、実験室が設置されている。
4）改善の方針、達成予定時期
特になし

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

--

Ⅱ. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 令和4年度動物実験委員会議事録 ・ 令和5年度動物実験計画書 ・ 令和4年度動物実験委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・ 動物実験委員会を、1回開催。 ・ 動物実験計画書の審査に当たっては、申請書の内容を委員会において詳細に検討した上で、議論を通して適否の判断をしている。 以上のことより動物実験規程に基づき、適正な委員会活動を実施していると判断した。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 令和4年度動物実験計画変更届 ・ 令和4年度動物実験結果報告書 ・ 令和4年度動物実験の自己点検票 ・ 令和4年度動物実験終了・中止報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・ 動物実験の実施状況については、動物実験結果報告書・自己点検票により把握すると共に、年度途中の計画変更および終了・中止についても届出を行い把握がなされていることから、適切に行われていると判断する。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・玉川大学動物実験に関する規程ならびに玉川大学動物実験に関する指針（平成13年10月1日制定） ・玉川大学動物実験運用要領（平成13年10月1日制定） ・玉川大学遺伝子組換え実験安全管理規程（平成15年10月1日制定） ・玉川大学遺伝子組換え実験安全管理運用要領（平成17年4月1日制定） ・令和5年度動物実験計画書 ・令和4年度動物実験終了・中止報告書 ・玉川大学脳科学研究所動物実験管理マニュアル（げっ歯類用）（平成28年4月1日制定） ・玉川大学脳科学研究所動物実験管理マニュアル（霊長類用）（平成28年4月1日制定） ・玉川大学動物実験管理マニュアル(齧歯類)大学6号館, Consilience Hall 2020(令和元年9月10日制定) ・玉川大学工学部動物実験管理マニュアル（げっ歯類用）（令和元年9月10日制定） ・令和4年度緊急連絡網
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・動物実験では、必要に応じて獣医師の直接指導や指導助言を受け、安全管理に努め行われている。 以上のことから、安全管理を要する動物実験は適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・玉川大学動物実験に関する規程ならびに玉川大学動物実験に関する指針（平成13年10月1日制定） ・玉川大学動物実験運用要領（平成13年10月1日制定） ・玉川大学脳科学研究所動物実験管理マニュアル（げっ歯類用）（平成28年4月1日制定） ・玉川大学脳科学研究所動物実験管理マニュアル（霊長類用）（平成28年4月1日制定） ・玉川大学動物実験管理マニュアル(齧歯類)大学6号館, Consilience Hall 2020(令和元年9月10日制定)

制定) ・玉川大学工学部動物実験管理マニュアル(げっ歯類用)(令和元年9月10日制定) ・令和4年度実験動物飼養保管状況の自己点検票
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) ・令和4年度動物実験の自己点検票ならびに令和4年度実験動物飼養保管状況の自己点検票は100%の提出を受けており、その内容について動物実験を所管する学術研究所研究促進室により精査され、動物実験委員会にて報告されたが、大きな問題は見つからなかった。 以上のことから飼養保管状況は適正である判断している。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・玉川大学動物実験に関する規程ならびに玉川大学動物実験に関する指針(平成13年10月1日制定) ・玉川大学動物実験運用要領(平成13年10月1日制定) ・玉川大学脳科学研究所動物実験管理マニュアル(げっ歯類用)(平成28年4月1日制定) ・玉川大学脳科学研究所動物実験管理マニュアル(霊長類用)(平成28年4月1日制定) ・玉川大学動物実験管理マニュアル(齧歯類)大学6号館, Consilience Hall 2020(令和元年9月10日制定) ・玉川大学工学部動物実験管理マニュアル(げっ歯類用)(令和元年9月10日制定) ・動物実験施設設置承認申請書 ・動物実験施設改造承認申請書 ・動物実験施設等廃止届
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) ・平成20年4月以降の施設の設置の際には、安全で適正な最新の設備としている(温度、湿度等は、ロガーにより自動的に記録されている)。 ・Human Brain Science Hall (HBSH 棟)の動物実験関係エリア(検疫室)についても同様である。 ・施設等の維持管理状況には問題は生じていない。したがって飼養保管施設、実験室は適正に維持管理されていると判断した。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・令和4年度教育訓練一覧 ・教育訓練使用テキスト
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・令和4年度教育訓練は、全学的には年1回の開催（61名参加）で行われ、その他は各実験グループ毎に開催されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・令和4年度実験動物飼養保管状況の自己点検票 ・令和4年度動物実験の自己点検票 ・動物実験に関する取り組み（玉川大学脳科学研究所ホームページ； http://www.tamagawa.jp/research/brain/experimentation/ ）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・自己点検結果を本報告書にまとめ、ホームページ上公開する予定である。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

平成30年7月に公益社団法人日本実験動物学会が実施する「動物実験に関する外部検証事業」に申請し、同年10月25日に訪問調査を受審した。なお、検証結果報告書については文部科学省「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」に則り、本学ホームページに公開している。 https://www.tamagawa.jp/research/brain/experimentation/
